

水の都イメージ 食べたくなる米の名前を

三島産の新たなブランド米の創出を目指す三島市のNPO法人・グラウンドワーク三島(GW三島)が試験栽培中の米の品種名を募集している。「水の都・三島をイメージでき、食べたくなる雰囲気がある名前を提案してほしい」という。

三島のNPO 品種名募集

ブランド化を目指す米は2018年から三島市中郷地区の水田でGW三島と中郷用水土地改良区が協力して試験栽培している。近く農林水産省に「産地品種銘柄」の登録申請をする予定。

米の特徴は粒が大きく炊き上がりの光沢・ツヤがよい▽口に入れた直後はあっさりとしているが、次第に豊かな甘みを感じる▽落ち着いた米らしい香りが感じられる——など。

締め切りは10月16日。ファクス(055・973・0022)、メール(info@gwmishima.jp)で応募を受け付けている。採用者に新米10^{キロ}、応募者の全員に新米500^{グラム}を贈る。問い合わせはGW三島(055・983・0136)。

【石川宏】